事務事業評価表

1．基本事項

作成日　平成25年08月15日(木)

事務事業	生活道路整備事業用地取得事務	担当課	道路河川課	担当係	用地係	管理番号	4167

総合振興計画				事業区分		
基本戦略				■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□
主要プロジェクト						サービス拡充 有□
行政計画分野別施策名	大項目	000004	便利で機能的な都市づくり＜都市・生活基盤＞	根拠法令個別計画等	土地収用法、深谷市生活道路整備の事業実施に関する要綱	
	中項目	000001	都市の一体性を生む道路の整備			
	小項目	000002	生活道路の整備			

事業概要	生活道路の工事を行うために必要な用地を確保するため、関係権利者と土地代金・物件補償金について交渉し、用地補償契約を行い買収用地の登記を行う。また、取得用地の維持管理を行う。
目的 ※何のために	生活道路の工事に必要な用地を確保するため。
対象 ※誰・何を対象に	土地所有者及び物件所有者
手段 ※どのように	関係権利者に対して土地代金・物件補償金についての交渉を行う。取得用地の除草業務委託を発注する。
成果 ※何を求めるか	用地補償契約を行い、買収用地の登記を行う。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・道路の未登記の処理	・
・取得用地管理（除草業務等）	・
・買収用地登記	・
・用地補償契約業務	・
・用地交渉	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

区　分			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年度別計画								
事業費	予算（現額）		0	0	0	0	0	0
	決算額		0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)		0.00	0.00	2.59	2.39	1.89	2.49
	人件費相当試算※1		0	0	19,979,260	18,379,100	14,430,150	19,661,040
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			0	0	19,979,260	18,379,100	14,430,150	19,661,040

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名 / 目標値 / 実績値 / 年度別目標値の設定根拠 / 実績値の出所・算出式	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標なし
■	活動指標１	用地交渉日数	日							■
		目標値		0.00	0.00	140.00	140.00	140.00	0.00	
		実績値		0.00	0.00					
		年度別目標値の設定根拠		関係権利者により交渉回数が左右されるため目標値設定になじまない						
		当該年度の実績								
■	活動指標２	除草面積（Ｈ２３まで都市計画道路含む）	㎡							□
		目標値		0.00	0.00	19,995.00	19,995.00	3,300.00	7,020.00	
		実績値		0.00	0.00	22,360.00	20,590.00	5,370.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		委託箇所の総面積×３回を目標値として設定						
		除草業務委託								
■	成果指標１	用地取得面積	㎡							□
		目標値		0.00	0.00	4,809.00	5,161.00	2,419.00	2,217.00	
		実績値		0.00	0.00	3,433.00	1,579.16	1,762.05	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		用地取得予定面積を目標値として設定						
		当該年度の実績								
□	成果指標２	取得用地の苦情件数（Ｈ２３まで都市計画道路含む）	件							□
		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		実績値		0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		取得用地管理において苦情を発生させないことが適正なため目標値は０を設定						
		業務安定システム事務処理対応表								
□	効率指標１	１路線あたり費用	万円							■
		目標値		0.00	0.00	0.00	127.00	90.00	0.00	
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年度ごとに用地買収が必要な路線数が左右されるため目標値設定になじまない						
		総事業費／総路線数								
□		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠								

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 取得用地の除草面積は目標値以上であるため、評価を「A」とする。
成果 （意図した成果が上がっているか）	C	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 塀・立木等の支障物件がある場合、工事予定の次年度に用地補償契約を希望する地権者が多く、単年度での用地取得が困難であるが、用地取得面積が目標値以下のため評価を「C」とする。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	－	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 年度ごとに用地買収が必要な路線数が左右されるため、それに伴い１路線あたり費用も推移する。

評価者	用地係長　飯塚　紀史

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	買収路線の物件補償等の状況を把握し、単年度で用地買収が完結するように進めて行く。
達成状況 及び その効果	早期に取得用地の除草業務を発注したため苦情が発生しなかったが、塀・立木等の支障物件を工事予定の次年度に用地補償契約を希望する地権者が多いため単年度での用地買収が困難である。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	生活道路整備事業用地取得事務	担当課	道路河川課	担当係	用地係	管理番号	4167

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

自治会からの道路整備要望が実施に追いつかない状況であり、支障物件の移転期間などの関係上、単年度に同路線に対して用地買収費・工事費の予算をつけることは困難である。

評価者	道路河川課長　宮下　昌規

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

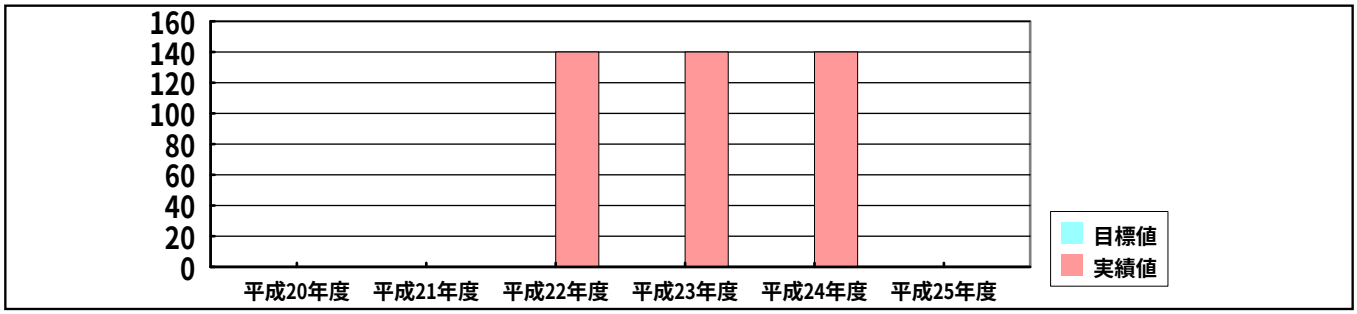
改善・改革案	買収路線の物件補償等の状況を把握し、単年度で用地買収が完結するように進めて行く。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

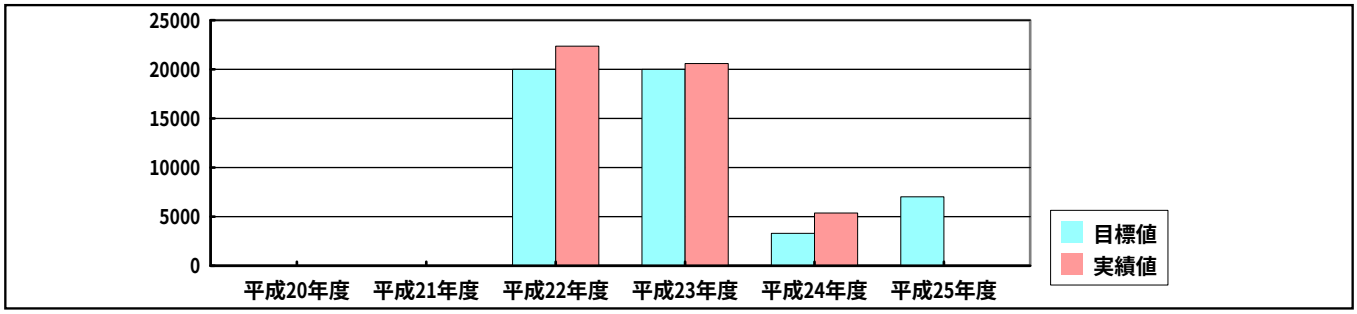
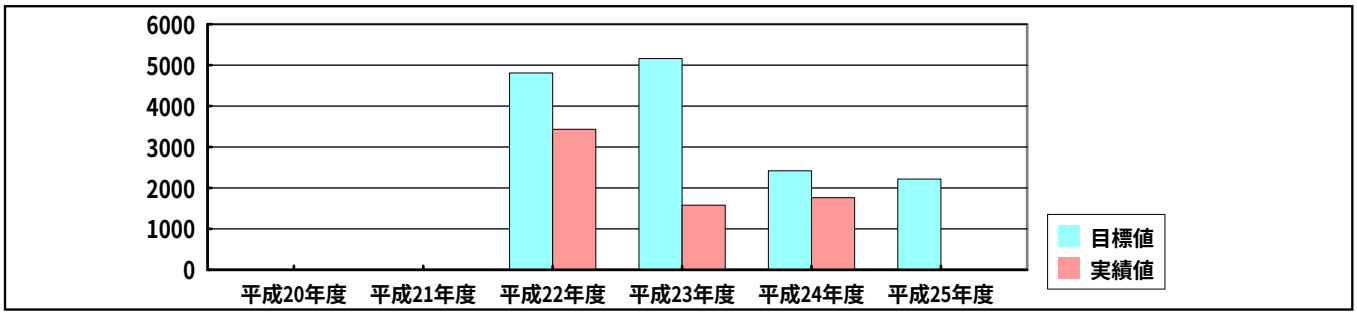
今後の課題	用地買収の翌年度に工事を計上できるよう計画的な用地買収を進めて行く。 平成２５年度からスマートＩＣ上り側進入路の用地買収を開始する予定である。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	用地交渉日数



区分	活動指標２	指標名	除草面積（Ｈ２３まで都市計画道路含む）



区分	成果指標１	指標名	用地取得面積